

人と人とのつながりがきらりと光る塩田

今年もソバ栽培します

平成27年度に塩吹地区で約3反の荒廃田畑で始めました「ソバ栽培」を今年も美野地区、塩吹地区、町分地区の合わせて約1町8反の荒廃田畑を活用しての栽培になります。増え続ける不耕作地とイノシシ被害。どうしたら良いのか？みんなで知恵を出し活動しなければなりません。草払い等により地域環境を維持する事は、非常に厳しい現実になりつつあります。地域住民の方の理解と協力が絶対に必要になってまいります。害虫・蚊などから地域環境を守る。他人事ではないことをみんなで考えましょう。

種蒔きは8月下旬。収穫は10月下旬頃の予定です。

なお、この事業は「嬉野市佐賀未来アシスト事業補助金」により、「耕作放棄地活用委員会」と「ソバ部会」が主となり活動を行い、事業費の9割が補助されるものです。今年で3年目になります。



地域と子どもたちの「安全・安心」を守る青色パトロール

6月28日、千葉県八街市の市道で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み5人が死傷した痛ましい事故。登下校中のこどもが犠牲になる交通事故は後を絶ちません。コミュニティでは、夏

休み・冬休み関係なく毎週水曜日の午後に、各部会員の方と塩田地区防犯協会とが校区内のパトロールをして頂いています。また、5月には区長さんとこども達が一緒に歩いて危険個所のでんけんもしていただきました。車の運転をする方の自覚が第一ですが、地域の交通安全と防犯とこどもたちの安全・安心の為に多くの方のご協力をお願いします。



●1・2年生が「いもさし」

6月2日 1・2年生が3種類で180本の「安納芋」「紅あづま」「シルクスイーツ」の芋苗を小学校菜園にうえました。暑さ対策の麦わら覆いもしました。こども達は、泥んこになって、楽しそうに作業をしました。新品種もあり秋の収穫が楽しみです。

をし



●5年生がもち米（ひでこもち）の田植えました。



6月2日、宮ノ元の田んぼで5年生が「もち米の田植え」をしました。5月24日に種蒔きをし、見事に生育した苗です。当日は、保護者・地域の方など多勢が参加をしてもらい、こども達は、頭から泥をかぶり、そりや一にぎやかな田植えでした。秋の収穫、その後の餅つきと今から楽しみです。その間の管理はこども達が学習のため、やってくれます。苗づくり、田植えの指導は、塩吹の筒井文春さん。田耕し、代掻き、田植え指導は宮ノ元の前田安一さんをお願いしました。

◎お知らせコーナー

塩田地区地域計画づくり 市民アンケート実施について

塩田地区地域コミュニティは、今年の9月で10年を経過します。平成23年に皆様からご意見・要望を頂き、それをもとに10年間活動してきました。しかしながら、今の社会情勢の変化は著しく、この先5年、10年後の環境がみえません。今までの活動の検証と反省をしながら、今年度「第2次塩田地区地域計画づくり」に着手します。そのためのアンケートを地域全戸の方をお願いして7月～8月に配布—回収したいと思います。アンケート記入をお願いする方は、16才以上の方で、世帯ごとに嬉野市で無作為に抽出された方になります。自分たちの地域を住みやすくするための組織です。みんなで知恵を出し合いましょう。ご協力よろしく願いいたします。

塩田地区地域コミュニティ運営協議会